

平成24事業年度の特色ある取組(レジューメ)



OITA UNIVERSITY

国立大学法人 大分大学

平成25年7月30日

大分大学の基本的な目標

(第2期中期目標前文より)

本学は大分大学憲章が示す目標を達成すべく、有為な人材の育成に努めるとともに、教育・研究・医療・社会連携への取り組みを通して特色ある大学づくりを目指し、もって総合大学としての機能の高度化や地域における「知の拠点」としての役割を果たす。

1. 知識基盤社会に求められる人材の育成

基礎的な学力に裏打ちされた高い専門知識とともに、柔軟な思考力と創造性を身に付け、知識基盤社会で活躍できる自立した人材の育成を目指す。時代や社会の要請及び学問の発展に対応した人材育成を行うために、教育研究組織の再構築を目指す。

2. 特色ある大学づくり

大学の個性化と高度化を目指し、大学院レベルの教育で目指す「高度の専門職業人養成」、学部レベルの教育による「幅広い職業人養成」、及び全学的な教育、研究、医療活動が役割を担う「社会への貢献」において、本学の特色を発揮する。本学が「ナショナルセンター」に相応しい実績を有する分野については、「世界的な教育研究拠点」を目指す。

3. 地域社会との共生・発展

大分県に立地する唯一の国立大学として、この地域における「知の拠点」として機能するとともに、地域の活性化に貢献する「リージョナルセンター」としての役割を果たす。

4. 発展を支えるマネジメント体制と安定した経営基盤の構築

運営体制の改革と安定した経営基盤の構築に努め、弾力的で効率的な大学経営の実現を目指し、質の高い管理運営組織を整備する。

1. 知識基盤社会に求められる人材の育成

1-1 高大接続教育事業の展開 (P.5) 【3】

『学問探検ゼミを核とした高大接続教育 (GP)』(平成 20~22 年度)
 「特に優れており波及効果が見込まれる取組」に選定
 日本学術振興会



平成 23 年度 学内予算で実施

●文部科学省特別経費

「幅広い職業人の養成や教養教育機能の充実」事業
 (事業計画：平成 24~26 年度) として採択

全学高大接続実施委員会を設置

学生の学問に関する探究心と基礎的能力を高める

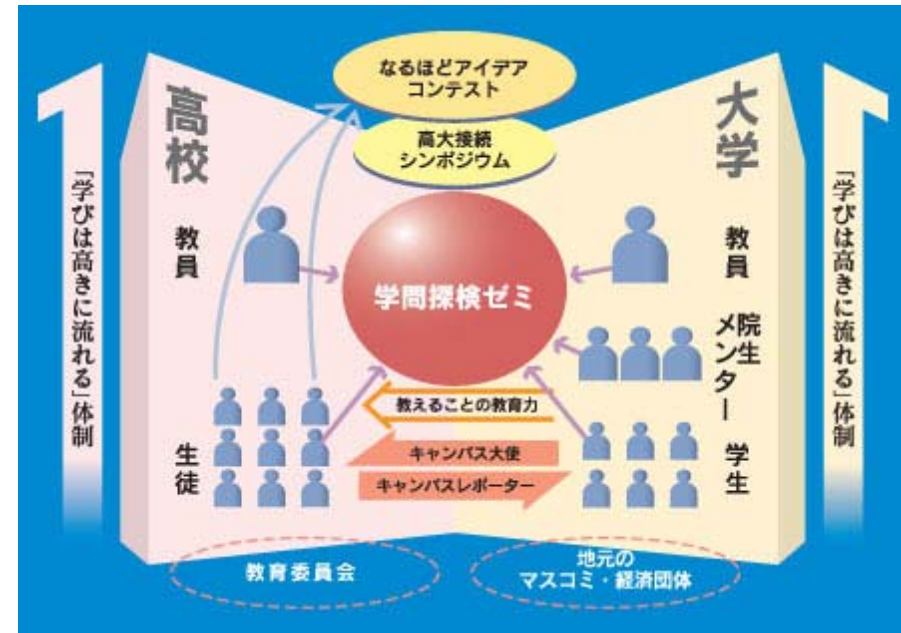
「学問探検ゼミ」(高校生 19 名)

「チャレンジ講座」(27 校 2,036 名)

「キャンパス大使」(32 校, 42 名派遣)

「大分県高大連携シンポジウム」

(県内外高校関係者等 約 130 名)



学問探検ゼミ



キャンパス大使



文系チャレンジ講座

1-2 起業家精神の涵養と産業界で活躍できる人材を育成するための教育 (P. 6) 【34】

取組

「ベンチャー精神に富んだ人材の育成」

産学官連携コーディネータを講師としたセミナーの開催
研究成果等を活用できる学内コンテストの開催



全国大会の受賞式（前列右から2人目）

成果

●九州大会「第12回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」(H24. 12. 14)

グランプリ

九州経済産業局長賞

●全国大会「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」(H25. 3. 7)

(参加)

文部科学大臣賞・テクノロジー部門大賞

学びつながらP-L! nks
～おやつ我慢でさらなる学びを！～

医学部 馬場 博 教育福祉科学部 井関美風
工学部 小野翔也 工学部 中村純人
中央大学法学部 岡 直樹

後付け式車いす用安全ストッパーによる転倒予防支援ビジネス
～転ばぬ先のストッパー！

安価で簡単な後付式車椅子用安全ストッパーによる転倒予防～

工学研究科 村田健太 工学研究科 大福哲史
工学部 清原健太



2. 特色ある大学づくり

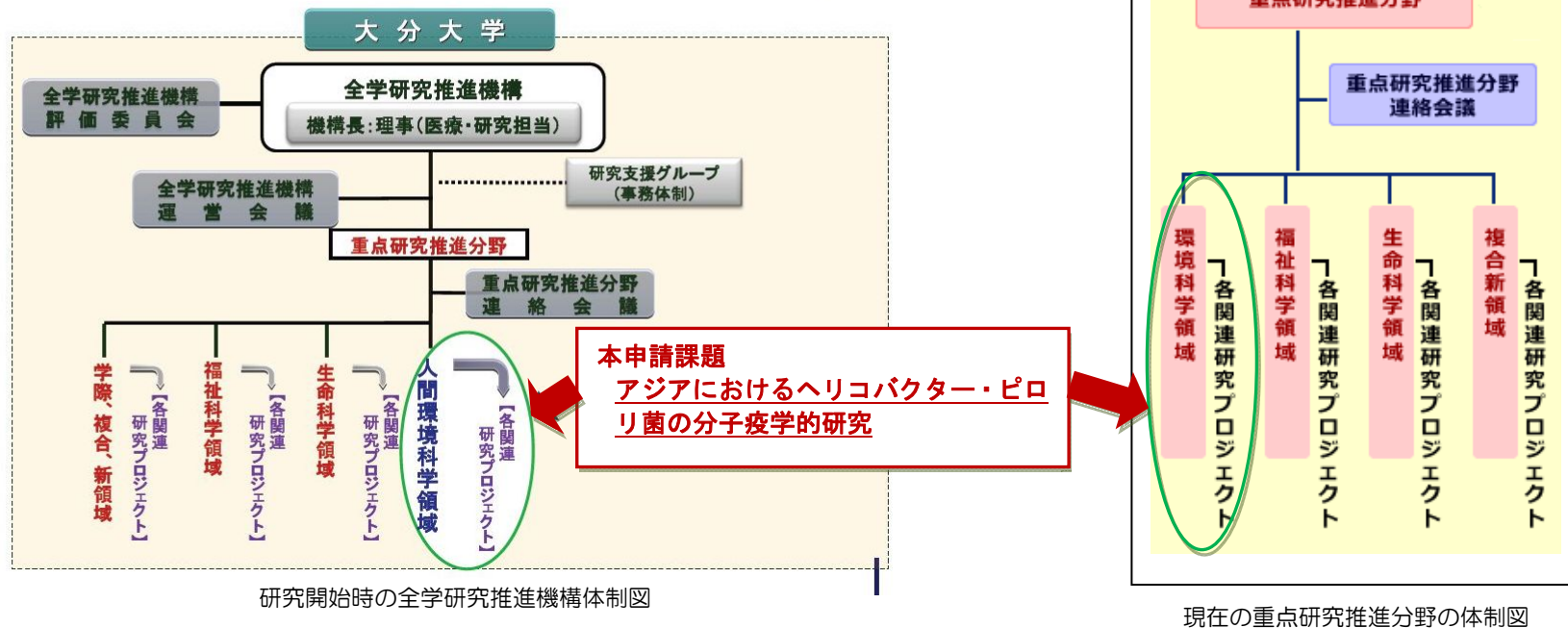
2-1 学際的研究の推進(P. 7)【28】

- 「アジアにおけるヘリコバクター・ピロリ菌の分子疫学研究」(平成 21~23 年度)

↓
独立行政法人科学技術振興機構の平成 24 年度事後評価：総合評価 S

「大分大学の全学研究推進機構の重点領域として
国際共同研究が具体的に継続実施されていることは高く評価できる。」

大分大学のプロジェクト推進体制



2-2 地域の「知の拠点」としての取組 (P. 7~8) 【30, 70】

● 「東九州地域医療産業拠点構想
(東九州メディカルバレー構想)」
平成 22 年度から引き続き
大分県と一体となって推進

- ・ 学内体制の構築
- ・ 「医療機器ニーズ探索交流会」開催 (H24. 8. 29)
(H25. 1. 31)
- ・ 「医療機器開発の進め方」講演会開催 (H24. 7. 13)
- ・ 「医と工の連携」講演会開催 (H25. 2. 4)



医療機器開発の進め方



医療機器ニーズ探索交流会

**大分大学
メディカルイノベーション
フォーラム 2013**
～アジアへ羽ばたけ、大分発の医療～

平成25年
日程 6月28日(金)～29日(土)
会場 大分オアシスタワーホテル

● 6月28日(金) 講演会 13:30～

- ・ 主催者挨拶 医学部 大橋 京一
- ・ セミナーⅠ 「大分大学における東九州メディカルバレー構想の取組み」
医学部 臨床工学療法教授 穴井 博文
- ・ セミナーⅡ 「がんの新しいバイオマーカー発見への取組み」
医学部 分子病理学講座教授 守山 正浩
- ・ セミナーⅢ 「アルツハイマー病に対する臨床研究」
医学部臨床医 神経内科講師 木村 成志
- ・ セミナーⅣ 「呼吸器疾患に対する臨床研究への取組み」
医学部臨床医 内臓器診療科 白井 亮
- ・ セミナーⅤ 「抗体を用いた新興・再興感染症の診断・治療薬の開発」
医学部 衛生学講座教授 西園 晃

・ 大分大学医学部における治療・臨床試験の実施体制の紹介

懇談会(会費制) 17:30～

● 6月29日(土) キャンパスツアー 10:00～

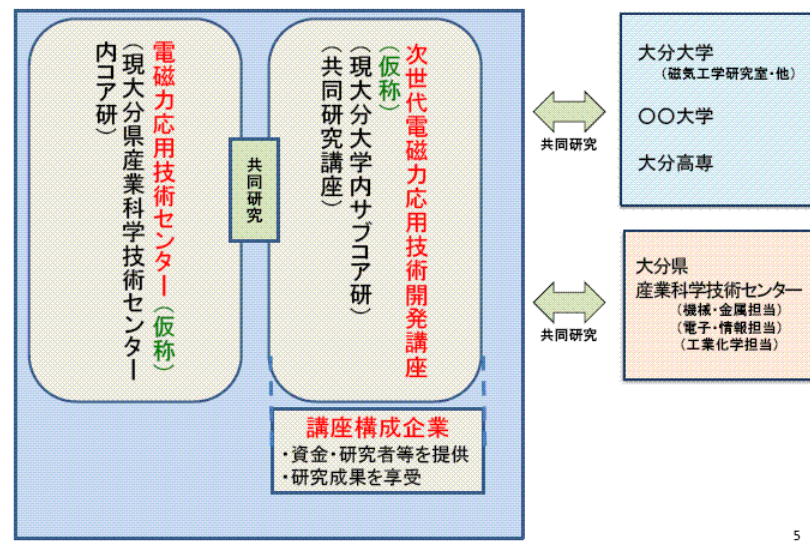
主催 / 大分大学医学部 後援 / 大分県

2-3 共同研究講座の設置 (P. 20) 【58】

● 共同研究講座「次世代電磁力応用技術開発講座」の設置
(H25. 4. 1)

名実ともに世界をリードする電磁力応用技術開発拠点として
世界に類のない電磁材料の評価・解析技術を活かした
次世代モータなど新製品・新技術開発を支援

電磁力応用技術開発拠点の研究体制



3. 地域社会との共生・発展

3-1 救命救急センターの機能強化に関する取組 (P. 9) 【47-1】

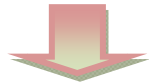
● **救命救急センターの竣工** (H24. 10)

超急性期の重傷症例に対する診療の強化

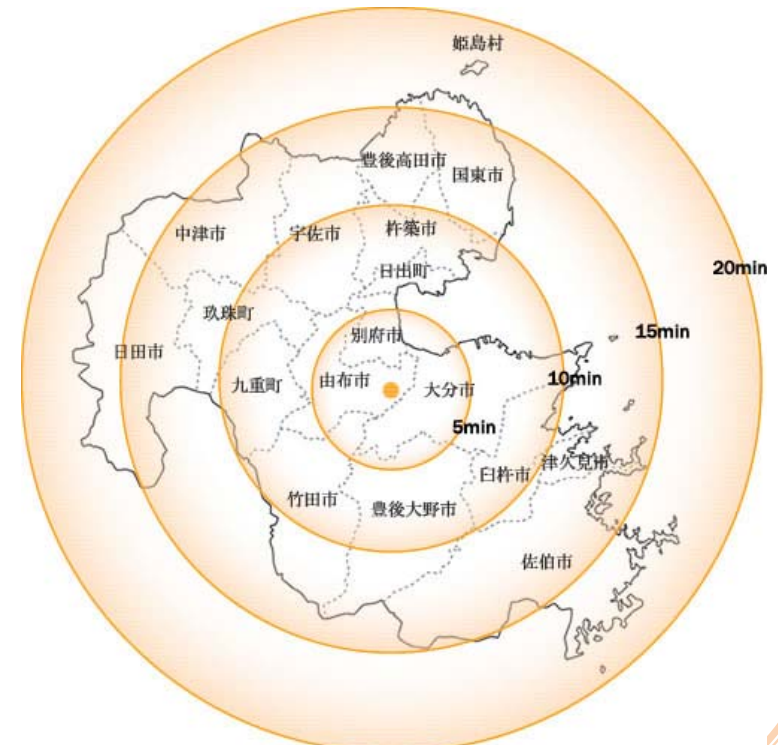
熱傷用薬浴装置, 血液浄化装置, 超音波診断装置,
患者生体情報管理システム, 映像モニタリングシステム,
高気圧酸素治療装置, 大動脈内バルーンポンプ等を導入

● **ドクターヘリの運航開始** (H24. 10)

平成 24 年 10 月から平成 25 年 3 月までの半年で 229 件の患者搬送



地域中核病院としての機能を充実



県内全域を 20 分以内でカバー



3-2 留学生交流拠点整備事業に関する取組 (P. 10) 【年度計画外】

● 文部科学省「留学生交流拠点整備事業」
全国7地域の一つに採択

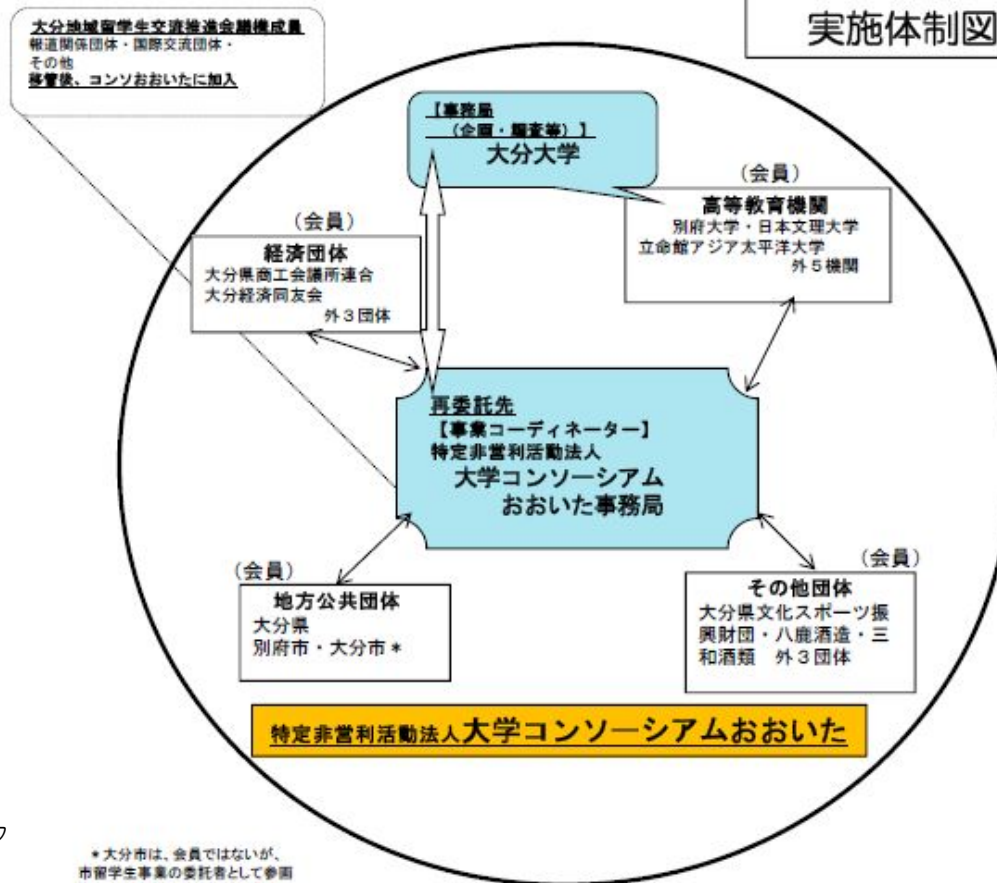
- ・ 大分県下の留学生支援に係る
窓口のワンストップサービス化と財源確保
- ・ 留学生の県内企業への就職支援
- ・ 留学生と日本人学生の交流の場の創出
- ・ 大分県内（大学立地市以外）での
留学生と地域住民の交流の充実
- ・ 留学生による地域提言

特定非営利活動法人
大学コンソーシアムおおいた
機能拡充

大分県の
多文化共生の街づくりの推進に寄与

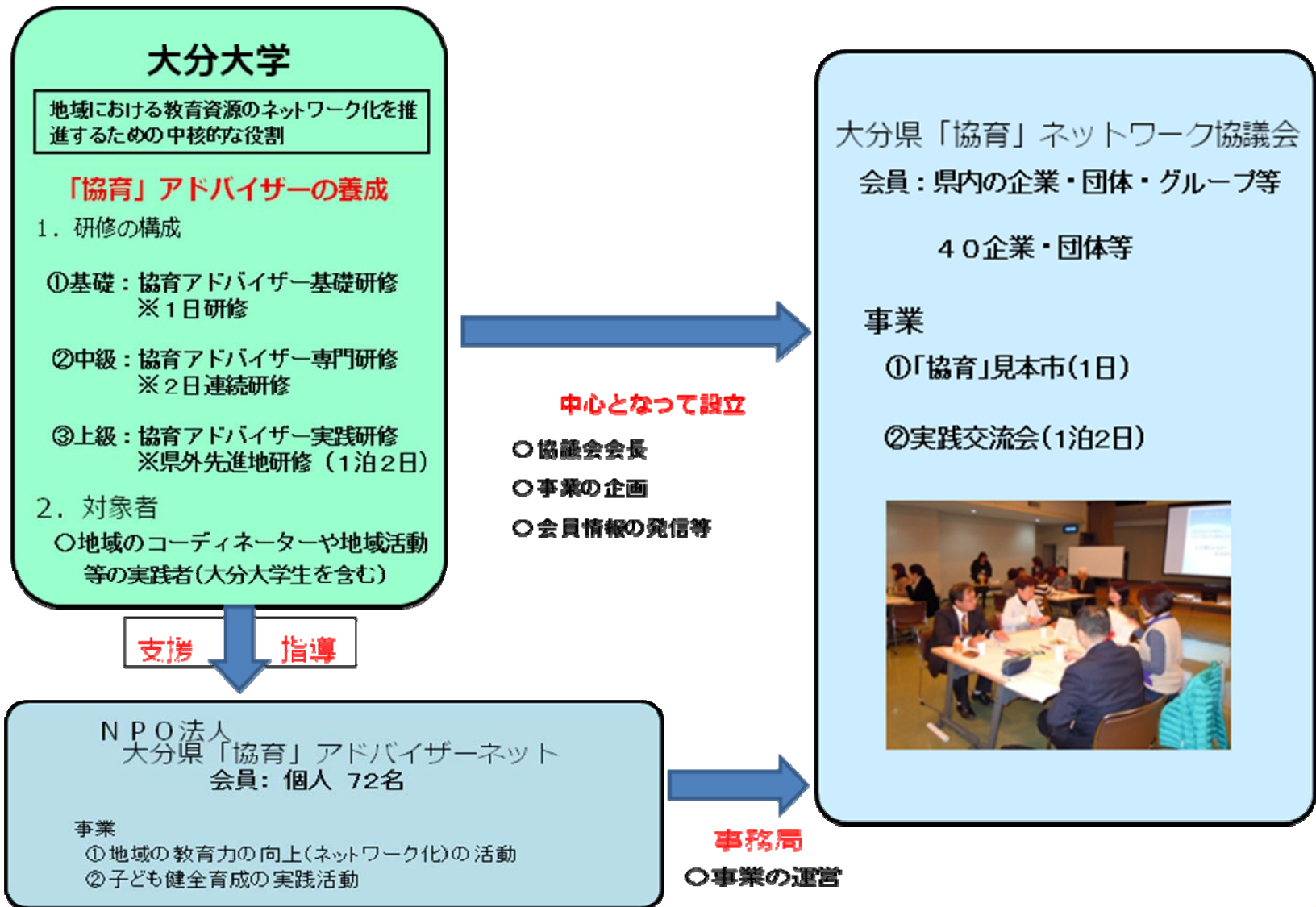
大分地域留学生交流推進会議組織成員
報道関係団体・国際交流団体・
その他
経費後、コンソおおいたに加入

実施体制図



「留学生交流拠点整備事業—留学生の街—」シンボルマーク

3-3 県民の研修機会の充実と地域活動への参加促進に向けた取組 (P. 10) 【37】



3-4 大学間教育連携プログラムの実施 (P. 10) 【14-1】

地域の学習インフラの高度化を目的とした

「とよのまなびコンソーシアムおおいた」の事業

● 共通教育事業

連携授業「大分の人と学問」(66名)

● 生涯学習支援事業 (連携講座全体 参加者計 404名)

生涯学習講座「豊の国学」(一般 27名)

IT・メディア講座 (一般, 小中学生等 68名)

環境学習講座 (小学生とその保護者 24名)

国際理解講座 (一般 24名)

外国語講座 (一般 82名)

大分地域再発見講座 (一般, 小学生 140名)

人材育成講座 (コーディネーター, 行政職員等 39名)

大学間の相互連携システム

各大学の実践と課題を持ち寄って学習支援を充実



**とよのまなび
コンソーシアム
おおいた連携講座**

大分高等教育協議会

大分県の大学・短大・高専が皆さんの学びを支援します。
多くの方々の受講をお待ちしています。

- IT・メディア講座**
 - Power Point講座
 - 親子でつくる3DCG
 - オンラインメモ帳入門
 - デジカメ講座
- 環境学習講座**
 - 豊穡の里海体感講座
- 国際理解講座**
 - 多文化共生社会のために
- 外国語講座**
 - 世界のコトバ、コトバの世界
- 大分地域再発見講座**
 - ふるさと歴史文化講座 (一般対象)
 - 子どもふるさと体験学
 - インクにさき
- 生涯学習講座「豊の国学」**
 - リレー講演
 - シンポジウム
- 「協育」アドバイザー養成講座**
 - 基礎編
 - 中級編
 - 上級編

お問い合わせ先 大分高等教育協議会とよのまなびコンソーシアムおおいた
事務局：大分大学学生支援部教育支援課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL 097-554-8522・7366 FAX 097-554-7445
URL : <http://www.e-consortium-oita.org> E-mail : manabi-jimu@oita-u.ac.jp

詳細については、今後お知らせします各講座のチラシをご確認ください。

4. 発展を支えるマネジメント体制と安定した経営基盤の構築

4-1 理事の所掌変更に伴う学内体制の整備 (P. 20) 【59, 61, 66, 67】

- 理事の所掌事項を迅速に変更可能
- 理事（大学改革統括・男女共同参画・総合調整）を配置
- 理事室を廃止
- 部門会議の整理・統合

4-2 迅速な意思決定と効率的な予算執行体制の構築 (P. 20) 【60】

- 予算区分の大括り（「人件費」「大学運営費」「病院運営費」「戦略的経費」等）
- 「理事所掌事業費」を措置
- 派遣留学生支援経費の確保
- 留学生寄宿舍改修経費の確保
- 学生支援のための「ぴあ ROOM」継続予算の確保

4-3 附属学校の学内マネジメント体制の確立 (P. 12) 【56】

- 県教委からの派遣教員に加えて、大学独自で教員を採用



留学生寄宿舍の改修



ぴあルーム